

国際P2M学会誌 P2Mマガジン12号目次

特集「科学技術とイノベーションを確実に実行するプログラムマネジメント」

| | | 頁 |
|-------------|--|----|
| 1. 巻頭言 | 事務局長就任のご挨拶と経営者のマネジメントについての提言 国際P2M学会事務局長（東京農工大学理事） 和田義明 | 1 |
| 2. 特別寄稿 | P2M誕生の秘話 コーポレート・インテリジェンス株式会社 代表取締役社長 武富為嗣 | 3 |
| 3. 特集の扉 | 特集「科学技術とイノベーションを確実に実行するプログラムマネジメント」 編集委員会 | 10 |
| 4. 行政の対応 | | |
| | 特別寄稿(1) Society5.0時代の新たなガバナンスの在り方 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課アーキテクチャ戦略企画室 室長補佐 沼尻祐未 | 11 |
| | 特別寄稿(2) 環境省水素実証事業を活かした地域での水素利活用について —カーボンニュートラルな時代に向けて— 環境省地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 室長補佐 大谷直人 | 15 |
| 5. FAの対応 | | |
| | 特別寄稿(3) NEDOの新たな挑戦 ～新領域・ムーンショット部の取り組み～ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 新領域・ムーンショット部長 山田宏之 | 21 |
| | 特別寄稿(4) 社会課題解決のための研究開発プログラムマネジメント ～JST RISTEXの取組みを事例として～ 国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター 企画運営室 室長/JSTプログラムオフィサー 平尾孝憲 | 27 |
| | カーボンニュートラル社会実現に向けた研究開発プログラムマネジメント 独立行政法人 環境再生保全機構 プログラムオフィサー 東京農工大学名誉教授 亀山秀雄 | 37 |
| 6. 大学と企業の対応 | | |
| | 特別寄稿(5) ポスト・コロナの経済社会を支える科学技術政策の在り方 —技術効率の向上と無形固定資産としての知識ストック— 慶応義塾大学 名誉教授 黒田昌裕 | 49 |
| | 特別寄稿(6) 「インクルーシブなSTEM教育のためのLiberal ARTの導入—STEAM教育の可能性」 県立広島大学大学院 経営管理研究科教授 吉川成美 県立広島大学大学院 経営管理研究科講師 磯貝日月 | 64 |

| | |
|--|-----|
| 特別寄稿(7) カーボンニュートラルに向けた需要の高度化 ～CO ₂ フリー水素利用と電化～ | 69 |
| 東京電力ホールディングス(株) 技術統括室 プロデューサー 矢田部隆志 | |
| プログラムマネジャーの振る舞い | 81 |
| 中央大学ビジネススクール教授 山本秀男 | |
| 超VUCA時代のシステムデザイン ～アーキテクチャデザインによる変化への対応～ | 85 |
| 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 白坂成功 | |
| 大学教育のデジタルトランスフォーメーションとプログラムマネジメント | 90 |
| 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授 芝浦工業大学 前副学長 井上雅裕 | |
| VUCA時代のエネルギー及び科学技術 | 101 |
| 千葉工業大学 社会システム科学部教授 山崎晃 | |
| 都市・地域のUDXにおけるマネジメントの特徴と課題 | 108 |
| 東京都市大学 都市生活学部教授 沖浦文彦 | |
| サステナビリティ経営戦略におけるP2Mの役割 | 115 |
| 兵庫県立大学 国際商経学部准教授 永里賢治 | |
| 世代を渡る長期的な社会的課題に対するP2Mの重要性について | 122 |
| 早稲田大学環境総合研究センター 研究院准教授 永井祐二 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科助教 李 洸昊 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 中野健太郎 | |
| 科学技術・イノベーションの効果的な推進 ～産学官連携事例のP2M的考察から～ | 127 |
| (一社) 関西産業活性協議会賛助会員 谷口邦彦 | |
| マルチプログラムマネジメントによる風土改革の実践 | 136 |
| 国際P2M学会・監事 白井久美子 | |
| デジタル・トランスフォーメーション(DX)時代のプロジェクトマネジメントに 効くP2M | 141 |
| ヒューマンシステム株式会社代表取締役 日本工業大学専門職大学院 技術経営研究科 客員教授 湯野川恵美 | |
| 化学企業におけるプログラムマネジメントの実践 ーシステムは作ってゴールではなく、作ってからがスタートであるー | 150 |
| 三菱ガス化学株式会社 生産技術部プロセス技術グループ主席 新保利弘 | |
| DX推進を支援するP2M手法の適応可能性 | 154 |
| KPMGコンサルティング マネジャー 早稲田大学 招聘研究員 中山政行 | |

7. 研究室紹介

研究室紹介(1) 持続可能な社会への移行を目指す ―事業構想人材育成を通じて― 157

事業構想大学院大学准教授 重藤さわ子

研究室紹介(2) 農山村はソーシャル・イノベーションの源泉 161

同志社大学 総合政策科学研究科教授 大和田順子

8. 図書紹介

図書紹介(1) 戸田直樹、矢田部隆志、塩沢文郎 共著 163
『カーボンニュートラル実行戦略：電化と水素、アンモニア』

東京農工大学名誉教授 亀山秀雄

図書紹介(2) 永里賢治著『環境規制と企業行動』 164

東京農工大学名誉教授 亀山秀雄

9. 大会予告 第32回 国際P2M学会 研究発表大会 165
「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントとP2M」

北陸先端科学技術大学院大学 副学長・東京サテライト長・教授 内平直志

10. 編集後記 編集後記 167

P2Mマガジン編集委員長 亀山秀雄